

2018年8月3日

各位

株式会社 ニトリホールディングス

小樽芸術村

「ルイス・C・ティファニー ステンドグラスギャラリー」

一般公開のご案内

この度、株式会社ニトリ（札幌市北区、代表取締役社長兼 COO 白井俊之、以下ニトリ）が運営する小樽芸術村の似鳥美術館では、8月22日より「ルイス・C・ティファニー ステンドグラスギャラリー」を一般公開いたします。

- 名 称 : ルイス・C・ティファニー ステンドグラスギャラリー
- 場 所 : 小樽芸術村 似鳥美術館 1階
- プレオープン : 2018年8月22日（水）
- オープン : 2018年11月16日（金）
- 概 要 : ステンドグラス作家、モザイク作家、ガラス工芸作家、室内装飾家、さらには建築家でもあったルイス・C・ティファニーの作品など32組のステンドグラスパネルを似鳥美術館の1階に展示。約100年前に作られたアメリカのステンドグラスの傑作を、コリント式列柱が見事な同時代の建築とともに堪能できるギャラリーとして現在修復中の2組と詳細解説の展示を除いてプレオープン。
(正式オープンは11月) / 75坪 (約250㎡)
- 作家プロフィール : **ルイス・コンフォート・ティファニー** (Louis Comfort Tiffany) [1848~1933]



オパールセントガラス



ファブリルガラス

ニューヨークの宝飾店、ティファニー商会の創立者であるチャールズ・ルイス・ティファニーの長男として1848年誕生。幼少期から最高の美術品や装飾品、卓越した技術を持つ職人たちから影響を受けたルイスは、様々な素材の中でもガラスを素材とした表現にのめり込み、オパールセントガラス（乳白ガラス）やファブリルガラス（玉虫色に輝くガラス）などを次々と世に発表した。「ティファニーランプ」を作り出したことでも有名だが、ルイスの最も多くの作品はアメリカ本土やイギリスなどの教会に作られたステンドグラスであった。



四福音書の窓 20世紀初頭 アメリカ製

高さ 5.3m 幅 6.8m と当ギャラリー最大の窓。中央の円形窓の中心には開いた本が描かれている。この本は聖書で、そこから発せられた光が周囲に広がっていく様が表現されている。左右の三つ葉型の装飾パネルには葡萄と時計草（パッションの花）が描かれているが、ともにキリストと、その受難を表現する植物。下部には 4 枚の大きなパネルがあり、それぞれの中央には聖書の四福音書を記した福音史家、向かって左からマタイ（人）、マルコ（獅子）、ルカ（牛）、ヨハネ（鷲）の象徴が描かれている。現在向かって左端のマタイはオリジナルの美しい絵付けが残っているが、他の 3 点は簡単に稚拙な線描きで作られていて、後世に入れ替えられてしまったと考えられる。



「天使」

ニューヨーク ティファニー・スタジオ制作 1900～1905 年頃
ニュージャージー州 ジャージーシティ
St.John's Episcopal Church



「世の光」ドアをたたくキリスト

ニューヨーク ティファニー・スタジオ制作 1910 年頃
ニュージャージー州 ジャージーシティ
St.John's Episcopal Church

※ リリースに関するお問い合わせ先

ニトリパブリック（担当：西川） Tel : 011-717-5044 Fax : 011-717-5023

mail : otaru-art-base-media@np-inc.jp